

far a way nearby

andrew01 art exposition tour 1 0 9 S A K 8 A
 SE O U L T O K Y O O S A K A
 遠くにあるもの
 近くにあるもの
 앤드류01 藝術展 1998 서울 동경 오사카
 멀려 있어
 가까이 있어
 앤드류01 순회 전시회 서울 동경 오사카



Where It's At
 print club stickers 8 x 10.5 cm.
 ink jet on fabric 100 x 125 cm.
 OSAKA JAPAN 1998

アーティストの言葉 작가는 말한다

私の最近の仕事は、不在という概念を中心に据えている。対象、**アート**、作品、見る人の間にある大きな隔たりを狭めるのが、その目的だ。対象をよく見て、見たものの間に創造的な関係を築いていく。しかし、そこには何かと妨げがある。素材、道具、手法、コンセプト、エゴといったものが直接的なコミュニケーションの邪魔をするのだ。表現手段に最小限のものを用いたり、コンセプトを重視する手法に干渉されるのは、直接的だからである。たまたまそこにあるものを持ってきて、イメージを借り、たとえば、街で見つけてきたちらしを重ねて、そこから新たなイメージを發掘していく、こういったテクニクもまた、

タ國に住んでいるとつい自分の文化と異質なところだけ注目してしまう。だが、そんなアプローチでは、物が見方がありきたりで、退屈なものとなってしまう。そこからは何も生まれないのだ。注意深く見事を見つめること、これが私のアプローチである。特に、誰も氣に留めて見ないような場所、の持つ空氣や裏が滲み出ているものを見つけ、それをそのままの形で呈示する。川面に映る影、物にも美というものは滲んでいるし、素朴らしい發見がある。無意識のうちに、素材や風景が、美的な價値を持ったり、そのなんでもないもので呈示する。そうすると風景や素材に馴染みがあるため、見る人は作品を理解し、そこで歡喜の瞬間が生まれるのである。

寫真は、直接的で即時的なものだからこその心に訴えかけてくる。名所、跡が色褪せてしまうような安っ埒窟窿や、夜の通りの水溜まりに映るネオンを私は撮り続けてきた。何天人も人が無意識のうちにいつも見ているありふれた風景だ。しかも意圖的に、旅行者のへたな寫真や、川や雨に濡れた歩道を見下ろす何の變哲もない寫真と同じよう撮っている。

さらにもっと直接的なもの、それは街のいたるところにあるブリクラである。どの街角にもあるのだから、カメラはもう必要ないのではないか？ブリクラは移動できないし、顔を寫すためだけに作られている。そのため表現形式は限定されるが、かえって対象に集中できる。まず最初に、瓶を蓋た人間とフードの人間を復た絡ませた全身の寫真を撮ってみた。そのあとで、背景となるカーテンをただ持ち上げて、ブリクラが周囲の風景を捕らえられるようにした。こうすることで、対象とそれが置かれているコンテクストはひとつになる。自分とはいうと、機會をうかがってボタンを押すだけだ。つまり、対象自身がそれ自身をあるがままに表現することを可能にしたのである。

私は最近には無縁に 関心、作品、見る人との距離を狭めるのが、その目的だ。対象をよく見て、見たものの間に創造的な関係を築いていく。しかし、そこには何かと妨げがある。素材、道具、手法、コンセプト、エゴといったものが直接的なコミュニケーションの邪魔をするのだ。表現手段に最小限のものを用いたり、コンセプトを重視する手法に干渉されるのは、直接的だからである。たまたまそこにあるものを持ってきて、イメージを借り、たとえば、街で見つけてきたちらしを重ねて、そこから新たなイメージを發掘していく、こういったテクニクもまた、

意國から来た生活は、その文化と異質なところだけ注目してしまう。だが、そんなアプローチでは、物が見方がありきたりで、退屈なものとなってしまう。そこからは何も生まれないのだ。注意深く見事を見つめること、これが私のアプローチである。特に、誰も氣に留めて見ないような場所、の持つ空氣や裏が滲み出ているものを見つけ、それをそのままの形で呈示する。川面に映る影、物にも美というものは滲んでいるし、素朴らしい發見がある。無意識のうちに、素材や風景が、美的な價値を持ったり、そのなんでもないもので呈示する。そうすると風景や素材に馴染みがあるため、見る人は作品を理解し、そこで歡喜の瞬間が生まれるのである。

スティック写真は、直接的で即時的なものだからこその心に訴えかけてくる。名所、跡が色褪せてしまうような安っ埒窟窿や、夜の通りの水溜まりに映るネオンを私は撮り続けてきた。何天人も人が無意識のうちにいつも見ているありふれた風景だ。しかも意圖的に、旅行者のへたな寫真や、川や雨に濡れた歩道を見下ろす何の變哲もない寫真と同じよう撮っている。

スティック写真は、直接的で即時的なものだからこその心に訴えかけてくる。名所、跡が色褪せてしまうような安っ埒窟窿や、夜の通りの水溜まりに映るネオンを私は撮り続けてきた。何天人も人が無意識のうちにいつも見ているありふれた風景だ。しかも意圖的に、旅行者のへたな寫真や、川や雨に濡れた歩道を見下ろす何の變哲もない寫真と同じよう撮っている。

far away nearby

andrew01 art exposition tour 1998 SOUL EAST OSAKA

遠くにあるもの

近くにあるもの

안드류01 藝術展 1998 ソウル 東京 大阪

멀리 있었

가까이에 있었

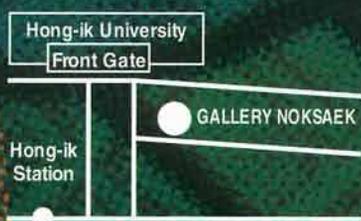
앤드류01 순회 전시회 서울 동경 오사카

Schedule

Gallery Noksaek

September 25
October 3
Opening 5:00 ~ 9PM

Seoul Korea



綠色갤러리
GALLERY NOKSAEK

405-6 Seokyo Dong,
Mapo-Ku, Seoul, Korea
Ph: 323-4941

International Art Festival '98 Tachikawa

November 1
November 11
Opening 1:00 ~ 9PM

Tokyo Japan



International Art Festival Tachikawa '98

For information and directions, Please call: 042-537-0871

Tank Gallery

November 6
November 20
Opening 1:00 ~ 4PM

Osaka Japan



tank gallery

2-10-12 Nishi-shinsaibashi,
Chuo-ku, Osaka, 542, Japan
Ph: 06-211-4522

Blue Nile Gallery

November 6 -
November 16
Opening 5:00 ~ 9PM

Osaka Japan



Blue Nile

1-4-13 Dotonborri, Chuo-Ku, Osaka, 542, Japan
Ph: 06-213-7010



Lilies (Spring)
excavated porno posters
35 x 50 cm.
SEOUL KOREA 1997